

三鷹第二小学校

学校通信

372

2002.12.2

校長 中村 勉

ホームページ

<http://www.education.ne.jp/mitaka/nisho-es/index.htm>

感謝、感謝の1年

校長 中村 勉

平成14年(2002年)は、新たな取り組みが地域社会の中で、学校現場の中で現われ始めた年でした。

より外にも内にも開かれた、豊かな学びの場としての学校づくりが、全国様々な自治体で、学校現場で、目に見える姿で始まっています。財政事情が厳しい中での取り組みです。21世紀の日本を背負って立つ人材の育成こそが、新たな文化の創造、心豊かな文化の継承・発展を実現してくれるであろうとの期待と投資と見ることができます。

本市でも学校図書館の充実が取り組まれてきました。平成15年の1月には、市内総ての学校の整備が整い、全校への司書配置が完了します。学びの場の中核として機能が一層向上することでしょう。司書が配置されたことにより、より豊かな読書活動の展開が出来るようになりました。難しい本、厚い本、漢字の多い本、文体の硬い本などは嫌われる傾向にありますが、教職員と委員会の子ども達で開館運営していたときは格段の利用率の向上ぶりです。本市の取り組みに感謝するのみです。

学校・家庭・地域イントラ事業もそうした取り組みの一つです。参加していただいている方々には、現在のところ十分に満足できる内容を提供できていない状況ではありますが、日々の1時間1時間の授業活動の充実を図りつつ教員達が熱意をもって取り組んでおります。限界ぎりぎりのところで奮闘を続ける教師を目の当たりにするにつけ、環境整備を司る校長としての力量のなさを痛感していたところ、11月23日、コンピュータ活動サポート隊の方、イントラ事業に参加して下さっている方にお集まりいただき、ご意見ご提言をいただきました。校長として、具体策を早急にまとめ、改善に取り組むたいと考えています。これまた、感謝あるのみです。

参加から参画へ、客体から主体へ、お任せから協働へ、評論家から実践家へ、匿名から記名へ、・・・、二小でも進めているこれらの変化は、より豊かな人材の育成、より豊かな地域・学校づくりに総ての大人が、責任をもって取り組んでいこうという意識の変化のあらわれでしょう。

西部住民協議会吉野惣一郎会長(本校同窓会会長)は、コミュニティ誌の中で「協働の立場にたち市民生活や町づくりを考える時代になってきたのだろうと思うと、心が豊かになってくる。しかし、それだけ一人一人の責任も重くなるのであろう。」と語っておられます。

学校運営連絡会もまた、その一つです。より充実した教育活動・教育実践を展開するために皆様のお知恵をお借りする組織です。今までも、1年間の教育活動に対して、学校内部では評価をし、改善を図り、次年度の教育課程の編成に生かしてきましたが、これをさらに外部評価を取り入れてより充実したものにしての取り組みでもあります。今年度は学習サポート隊の方々に、学校運営連絡会の中の評価委員会が作成した評価項目にそって評価をしていただき、今ご提出をいただいている最中です。

この結果・まとめについては、学校運営連絡会でご審議をいただき、内部評価を含めて皆様に公表していくつもりです。最初の一步にご協力いただいた方々に、これも感謝です。

それから、第三回「語ろう会」を11月22日夜6時30分より東野公会堂で開催致しました。今回は、自分の好きな飲み物、食べ物を持参してということもあり、和やかな雰囲気の中で、熱気溢れる意見交換が今まで以上に展開されました。

新1年生の保護者の方が2名、青少年委員さん、児童委員さん、保護者の方、教員等総勢18名の参加でした。夜ということもあり、男性の参加が8名ありました。また、「参加はできませんが、お茶をどうぞお使いください。」という地域住民の方の大変嬉しい差し入れも届きました。

『今、子どもに育てたい・伝えたい 力』が今回のテーマでしたが、皆さん、自分のお考えを素直に語ってください、印象に残りました。

残念ながら時間が足りなく、「では、そのような力を育てるため、伝えるために、親として、家庭として、教師として、学校として、地域の住民として、地域として具体的にどういうことに取り組むべきか」ということまでの意見交換はできず、次回に語り合ひましょうということになりました。

話の中に出てきた 力を参考までにあげますと、
自分で生きる力・自分で道を切り拓く力・楽しむ力・気力・こつこつやる力・復元力・判断力・自分を信じる力・我慢する力・自然治癒力・人間関係力・社会力・読書力・ぬすむ力・まねする力・・・・、
等でした。

次回は、2月に野崎公会堂で夜間に開催する予定でいます。年が明けてから、また詳しくご案内いたします。

朝からとびっきり底冷えもし、風の冷たい日でした。しかも金曜日の夜・・・にもかかわらずお集まりいただいた皆様に、これもまたまた感謝です。

振り返ると、本校を取りまく環境・状況も大きな変化が胎動を始めたこの1年でした。本当に今までの経験則だけでは、対応していけないことが分かった1年でもありました。

ここに改めて、この1年の保護者・地域住民の方々の直接的・間接的なご支援ご助言に対して感謝申し上げます。ありがとうございました。

新しい年も、よりよい子どもの育ちをめざし、二小は新化・進化・深化を続けます。どうか共感的なご助言、ご指導を、手厳しいご批判とともに一層賜りますようお願い申し上げます。

12月の予定

- | |
|-----------------------------------|
| (B時間割) |
| 2日(月)個人面談 |
| 3日(火)個人面談 |
| 5日(木)個人面談 避難訓練 |
| 7日(土) もちつき大会 |
| (A時間割) |
| 9日(月)クラブ活動 |
| 11日(水)児童集会 |
| 12日(木)2中ふれあいボランティア
(1~4、2・3校時) |
| (B時間割) |
| 16日(月)クラブ活動 |
| 18日(水)音楽朝会 |
| 19日(木)歯科検診(全) |
| (特別時間割) |
| 23日(月)天皇誕生日 |
| 24日(火)午前授業 給食終了 |
| 25日(水)終業式 大掃除 |
| 1月8日(水)始業式 大掃除 |

マラソンの取り組み

冬の寒さに負けない、丈夫な体を作るための取り組みの一つとして、毎年この時期に全校で持久走に取り組みます。

10時42分、校庭に音楽が流れ出すと、子どもたちは、遊びをやめてトラックを走り始めます。3分間の『マラソンタイム』の始まりです。

校庭に3つのトラックを作り、低・中・高学年に分かれて走ります。走るペースは各自に任されていて、自分に合ったペースで走ることになっています。わずか3分間ですが、毎日取り組み続けることで徐々に持久力がついていきます。『マラソンタイム』だけでなく、各学級の体育の授業でもあわせて取り組んでいきます。そして、自分のがんばりの成果を確かめるために、学年毎の校内マラソン大会も予定されています。

長く走れるペースを自分で見つけ、走ることを楽しみながら、持久力をつけていってほしいです。

(健康教育)

学習発表会 子どもたちの一言

1 年生

スイミーのうたをいままでいっばいれんしゅうして、ついにこのひがきました。すきなうたがじょうずにうたえてよかったです。(1の1 M.S)

ねんどはきれいで、うれしかったです。つくるときつかれたけど、たのしかったです。こまかいところがむずかしかったです。(1の2 M.H)

スイミーのうたのとき、はじめはきんちょうしていたけど、きちんとうたえた。そのあと、ぜんぶのクラスのさくひんをみた。四しゅうまわって、すごくつかれた。

(1の3 M.S)

2 年生

とってもときどきした。じゅんばんをまちがえたらどうしようとおもった。でもできたらとってもあんしんした。(2の1 S.T)

パッフェルベルのカノンは、とてもドキドキした。本ばんでは、あまりふけなかったところできて、気持ちよかった。(2の2 Y.T)

にわとりはとてもフワフワ感ができて自分の作品なのでお母さんやお父さん、おばあちゃんにさわらせてあげました。お父さんとお母さんは「気持ちいいね。」と言っていました。

(2の3 M.I)

おかし作りでは、紙ねんどを、うすくのぼして、かたぬきでぬくとき、ひびのないようにするので、とてもむずかしかったです。(2の4 M.I)

3 年生

おまつりの本番前に練習をした。みんながんばっているから大きな声がでた。本番は、おきやくさんが、おおぜいで、ちょっとドキドキした。(3の1 A.O)

わんぱく太こは、練習の時よりうまくできてうれしかったです。学習発表会は、(やだなあ。)と思っていたのが最高になりました。(3の2 T.S)

おまつりの1回目は、うちわがはんたいだったから失敗だった。でも2回目は失敗しなかった。なぜなら、うちわ(台本)を見なかったからだ。学習発表会は、楽しい。(3の3 K.A)

4 年生

ぼくは台詞が多くて覚えるのが大変でした。本番で間違えたけど友達がカバーしてくれたので失敗が防げた。苦手な歌もうまく歌えて嬉しかった。(4-1 M.Y)

いよいよ四年生。きん張して言えないと思ったけどちゃんと言えた。ほかのクラスもちゃんとできた。この日は一日中楽しかった。(4の2 A.H)

私は、教室でクッキーを配りました。4年生が作ったクッキーをみんなおいしそうに食べていました。うれしかったです。つられて私はつまみぐいをしてしまいました。おこられてしまいました。でも、とってもとってもおいしかったです。(4の3 Y.T)

5 年生

「あの時かもしれない」の詩で一番好きな所は「きみのほかには、きみなんて人間はどこにもいない」というところです。こっちを選んで読んでよかったですと思いました。(5年1組 A.I)

ついに発表の時間がやってきました。ぼくは心臓がバクバクしていました。発表しているときは心臓がなりっぱなしでした。発表が終わるとちょっとだけほっとしました。

(5年2組 N.S)

私達5年は、群読に挑戦しました。本番ではソロでちょっときこえにくかった人もちゃんと聞こえました。まちがいなく大成功でよかったです。(5年3組 Y.K)

6年生

HELPで一番がんばったのは練習です。学校だけでなく、家で手伝いをしながら練習したり、遊びながら頭の中で歌ったりして、本番に備えました。

(6年1組 T.I)

「Today we will present you a Beatles number」「言えた。」緊張しながらも、ちゃんと言えました。そして、マイクを中沢さんに渡しました。

(6年2組 A.T)

私は本番よりもその前後が好きです。全員、一体化するムードが素晴らしいからです。でも、大きな行事がなくても、そうなりたいです。

(6の3 Y.T)

サポートスタッフ通信

2年生ではサポートスタッフの方々が、朝のチャレンジタイムを利用して絵本などの読みかせをしてくださっています。週3回、事前にミーティングを開いて読む本を決めたり、読んだ本をノートに記録したりしながら、朝の楽しい時間を作り出して下さっています。

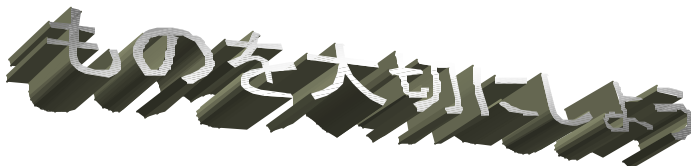
2年生は他にも算数の時間にアシスタントとして授業への参加をお願いしています。担任が授業を進め、自分の課題(プリントなど)を終わらせた子どもがサポートスタッフの方の所で丸つけをしていただいたりしています。そのおかげで、担任は子ども達の指導に専念できるし、子ども達は時間を有効に使うことができるので一石二鳥にも三鳥にもなります。

こうした取り組みは、サポートスタッフのみなさんがいてくださるからこそできるものです。これからもどうぞよろしくをお願いします。

サポートスタッフ担当

生活指導より

12月の生活目標



ジャケット(含むベスト) 16枚、ぼうし 9つ、折り畳み傘 9本、長傘 14本、そのほか、手袋、なわとび、給食袋、くつした、ハンドタオル、ハンカチ、えんぴつ、レジャーシート、なんとねぶくろまで落とし物箱に入っています。

1学期に入っていたジャケット類を夏休みに洗濯しましたが、27枚もありました。ですから、今入っているのは、2学期になってから3ヵ月間の落とし物なのです。

名前が書いてあれば、返してあげられます。

新しいものを買ってあげたら、必ず記名をお願いします。自分で書かせるのもよいでしょう。無くなったら、探してください。

ボール・じょうろ・うわばき・ほうき・・・子どもは、後始末が苦手。みんなのものは学校でもがんばって指導をしますので、自分のものはおうちでしっかり確認して欲しいと思います。

すぐに新しいものに買い換える時代は終わりました。環境破壊が心配なこれから、1つのものを大切に長く使える人に育ててあげたいものです。

(なかなかいいねぶくろです。お心当たりの方は、取りに来てください。)

生活指導担当

落とし物コーナーは
中央昇降口に入って、左
側です。